

## 主な活動の紹介

今年度は、地域コーディネーターの配置と地域ボランティアの確保、分野ごとの組織構成を構築するなど協議会の仕組みづくりに重点をおきました。学校支援を中心にしながら学校・家庭・地域が課題を共有し、より有効な支援活動を行うための連絡調整をすることに取り組みました。

○平成24年6月1日 秋穂地域交流センター内に地域コーディネーターを配置し、協議会の素案づくりや各関係機関との連絡調整作業を開始しました。

○平成24年7月6日 秋穂地域協育ネット協議会発足の会を開催しました。

○平成24年8月27日 設立記念講演会を開催しました。

- ・講師：立教大学大学院特任教授 渡辺三枝子 氏
- ・演題：「自立していく子どもたちを支える学校・家庭・地域社会の連携」

○学校支援

秋穂小・大海小・秋穂中からの依頼を受けて地域コーディネーターの調整により、学校支援ボランティアを派遣しています。



設立記念講演会講師



小学校5年生家庭科授業



絵本の読み聞かせ



しめ飾り教室



思春期子育て体験授業

○学校支援ボランティアの募集と人材登録

登録募集チラシを作成・配布し、広く地域の人々に人材登録をよびかけています。

○情報発信

秋穂地域協育ネット関係団体が実施している事業の共催や後援を行うことを通して、その活動支援と地域協育ネットのPRをするほか、「地域情報紙あいお」を活用し、積極的な情報発信を行っています。

## 成果と課題

これまで、各小・中学校が独自に地域人材を登用して学習支援や地域交流を実施してきましたが、地域協育ネットのコーディネーターによる速やかな調整が可能になり、地域の生涯学習関係者を含め、より多くの学校支援ボランティアを派遣することができるようになりました。

また、個々で活動することが多かった子育て支援団体が、地域協育ネットを通じて情報を共有し、それぞれの活動状況を認識することで、連携・協力の意識が高まりました。

今後は、地域づくりを進める「たのSEA秋穂づくり協議会」の一翼として「秋穂地域協育ネット」の活動を推進し、ボランティアの人材登録が進むよう、より有効な広報活動が重要になります。

さらに、協議会委員や地域コーディネーターが積極的に研修等に参加し、資質の向上を図るとともに実践力を身に付け、地域の特性を生かした取組を展開していくことが求められます。

## 今後の取組

○たのSEA秋穂づくり協議会（ふれあい部会）を中心とした取組の推進

- ・部会、役員会、総会での共通理解と支援体制の充実
- ・情報を共有するシステムづくり

○各団体、地域住民への啓発活動

- ・広報紙の作成
- ・ボランティアの人材登録

○地域コーディネーターと各校担当職員との連携体制の充実

- ・各校のニーズの把握
- ・各校の人材リストの把握と整理
- ・「やまぐち路傍塾」登録者及び団体についての情報提供

○関係団体間の交流と連携の推進

- ・各団体の情報交換の促進
- ・連携協力行事の実施を促進